

堀田 一芙 (用務員)

4/7
瑞龍寺

オフィス・コロボックル代表 日本 IBM において PC 販売事業部長、ソフトウェア事業部長、ゼネラルシステム事業部長など常務取締役として歴任した。2007年9月、富士ソフトに副会長として入社、副会長を経て現在、内田洋行顧問、サイバネットシステム取締役。2011年の震災を機にオフィス・コロボックルを東赤坂に開設し、地方創生のプロジェクトを支援。2015年以降は山形県高島町を皮切りに熱中中学校の立ち上げに関わっている。

松本 美佐 (家庭科)

4/21
ウイング
高岡

お菓子教室&食育コミュニティキッチンスタジオ横浜ミサリングファクトリー代表 / リトルヘルプ合同会社代表 16年に渡り、お菓子作りを通じて手仕事の大切さ素晴らしさを伝える活動をしている。教えた生徒は3歳から90歳まで1,500名を超える。現在は教室業で自立を目指す女性の支援にも力を入れている。著書「小さなパティシエのためのお菓子 Book 全3巻」2016年浜銀ビジネスウーマンアワードファイナリストなど

安藤 邦廣 (図画工作)

5/19
瑞龍寺

筑波大学名誉教授、NPO木の建築フォーラム理事長
歴史的建築物活用ネットワーク共同代表。木造建築のデザインと技術開発を研究。主催している「里山建築研究所」では、伝統・現代技術からなる板倉の家づくり他、日本の森林資源の大きな循環の回復を目指した古民家再生や里山保全の活動も展開している。

中村 貴裕 (スタートアップ)

6/2
瑞龍寺

チーム HAKUTO/ 株式会社 ispace 取締役 COO 東京大学大学院理学系研究科で惑星科学を修了後、新卒でアクセンチュアに入社。6年ほどの勤務ののち、リクルートの新規事業開発室に転職。住まい領域にて複数の新規事業の立ち上げを経験し、2015年から現職。チーム HAKUTO には、立ち上げ初期の2011年より参加し、主にビジネス開発と組織設計を担当。

山口 純哉 (生活)

6/16
瑞龍寺

長崎大学准教授
愛媛県松山市生まれ、地域経済が専門です。1995年から2000年の神戸市長田区、産業復興やまちづくりに触れて一喜一憂する日々が、地域への興味をかき立て、人生を変えました。今は、私たちの暮らす地域はどうあるべきなのか、腰を据えて考え、行動できる地域人が育つ手伝いに夢中です。

加藤 優子 (特任用務員)

7/7
ウイング
高岡

株式会社オマツリジャパン代表取締役 武蔵野美術大学 油絵科卒業。ピクセルコーポレーションに就職。「アートの力で日本に古くからある物を現代に合うようアレンジして広めたい」という想いで商品開発とパッケージデザインを担当。本業をする傍ら、強みを生かしてデザインに関する祭支援活動を始める。日本のお祭りを盛り上げたい！という想いから、2014年、退職し、オマツリジャパン立ち上げ。祭で日本を盛り上げるべく日々奮闘中。

内海 弦 (理科)

7/21
瑞龍寺

アーム株式会社代表取締役社長 1987年、インテルジャパン株式会社(現インテル株式会社)に入社。ワイヤレス技術センターおよびフィールドアプリケーション本部長代理。2003年から2008年、テンシリカ株式会社にて、フィールドアプリケーションディレクターとして勤務。2008年11月アーム株式会社入社。OEMセールスを経て2010年よりセールスVPに就任、2013年代表取締役社長に就任。

山寺 純 (スタートアップ)

株式会社 Eyes, JAPAN 代表取締役/ユニコーン 兼チーフ・カオス・オフィサー 1995年に会津大学初のITスタートアップ企業「あいづ・ジャパン」を創業。以来「2001年宇宙の旅」の著者でも知られるアーサー・クラークの「優れたテクノロジーは魔法と区別がつかない」をビジョンに掲げ、国内外問わずウェブ、コンピュータグラフィックス、オープンソース、ハッカソン、ヘルスケア、セキュリティ、IoTなど様々な領域のテクノロジーのエッジで活躍。

まきりか (音楽)

作曲家・作詞家・脚本家 脚本と曲をいっぺんに書くミュージカル作家。「桃太郎電鉄シリーズ(編曲)」など人気ゲームの作曲編曲を数多く担当する。1997年フリーの作曲家、作詞家、ライターとして独立起業。2012年、ビジネスマンミュージカル「WAYOUT」(企画・プロデュース・上演台本・作詞・作曲)でデビュー。『ミュージカル「DAICHI」』が、平成28年度北海道戯曲賞の最終候補に選出される。代表的な作品は「KACHIBUS」「O.G」など

池田 誠 (社会)

一般財団法人北海道国際交流センター(HIF)事務局長(はこだて若者サポートステーション統括コーディネーター)小樽商科大学卒業後JT Bにて11年間勤務。95年に退職、1年間、ニュージーランドでグリーンツーリズムや、パーマカルチャー、バイオダイナミックなどを学ぶ。帰国後、共働学舎新得農場にて有機農業、ナチュラルチーズづくりなどを担当し、自給自足の共同生活を。現在、外務省 NGO 相談員、DIG ネットワーク函館事務局長など多数

四津谷 道宏 (道徳)

国宝瑞龍寺住職 1969年富山県高岡市生まれ。駒澤大学仏教学部を卒業し、大本山総持寺で修行。平成26年5月17日に晋山式が行われ、名実ともに住職と認められた。北國(富山)新聞で「大和尚の独り言」を執筆中。現在富山県宗務所人権擁護推進主事。瑞龍寺において、落語的拝観説明が好評で、各地で講演活動を行う。瑞龍寺でコンサートやライトアップなどを企画し、ボランティア活動も積極的に行い、開かれたお寺の形を模索中。

校條 諭 (社会)

NPO 法人みんなの元気学校代表理事、ネットラーニング社外取締役、「近未来研究会」のコーディネーター シンクタンクに23年在籍、情報社会や消費者行動の研究を柱に、インターネット社会を展望するセミナーやワークショップを企画・運営。1997年に独立、起業し、SNSの先駆けとなるネットコミュニティ・サービスを開発。互編著書『メディアの先導者たち』、共著『はたらく高齢者の多様な働き方』ほか。

山田 玲子 (家庭科)

料理家 食することは一番身近な外交がモットーで料理家として活動しております。「おにぎりレシピ101」をバイリンガルで出版し各国でおにぎりを通じてのイベントも開催してきました。熱中中学校では食材を探し、どんな料理のやり方で、どんなスパイスがあうのか?そして出来上がった料理にはどんなお酒があうのか?とテーブルを演出するアイデアを出し合いながら料理を作り共に食事をする楽しさを分かちあひましよう。

森 雅史 (音楽)

声楽家 富山県高岡市出身。黒崎隆憲、田島好一、中畑和子、高橋大海、ジョヴァンニ・ペリウッチの各氏に師事。ポローニャ歌劇場付属オペラ研修所在籍中、ニコラ・ルイゾッティ指揮『サロメ』、ミケーレ・マリオッティ指揮『椿姫』、バツハ『マタイ受難曲』のイエス役などソリストとして多くの演奏会に出演。2014年4月から、名古屋音楽大学の専任講師。